

2016年度JHF事業計画

事業方針

2015年度は多くの重大事故が発生し、モーターパラグライダー5名、パラグライダー7名、ハンググライダー1名、合計13名の方が亡くなりました。事故原因の中には、レッグベルトの装着忘れや水中落下といった基本的なエラーのほか、空中で病気のために意識を失ったと思われるものもありました。安全に飛行できることは普及の前提条件です。今後も教本作成や安全セミナーなどを通じてパラグライダーやハンググライダー事故の防止を図っていきます。また、フライヤー自身のケガを保障するJHF総合保障制度の加入者の拡大を図ります。

なお、モーターパラグライダーはJHFなどの団体に一切所属しないでフライトしている人も多く、その人たちに対しても安全を呼びかけることが事故の防止には不可欠です。そこで、JHFの会員でない人たちをも対象としたMPGパイロット安全セミナーを開催します。

事業の具体的内容

1. 理事会・事務局の事業

- (1) 愛好者増加の推進
- (2) 寄付・助成金獲得への取り組み
- (3) ハング・パラグライディングのイメージ向上・宣伝告知
- (4) 全国のフライヤーの実態把握と安全対策検討
- (5) 委員会の主体的活動のバックアップ
- (6) ボランティア制度の活用促進
- (7) フライト中の情報交換を可能にする無線機の普及
- (8) フライヤーのための損害保険の告知と普及
- (9) スクールのための施設賠償・損害保険の告知と普及
- (10) 第三者賠償責任保険の付保継続
- (11) その他定款の定める管轄事項

2. 常設委員会・事務局（広報出版）の事業

(1) 安全性委員会

1 事故情報の収集と管理

- 2 事故調査活動
- 3 機体登録制度の推進
- 4 M P Gパイロット安全セミナーの開催
- 5 パイロット安全セミナーの展開（教員・スクール事業委員会と合同）
- 6 D H V, P M A, E A P R（European Para Academy）訪問
- 7 M P Gエリアマップの作成

（２） 教員・スクール事業委員会

- 1 パイロット安全セミナーの展開（安全性委員会と合同）
- 2 H G教本の編集
- 3 P G教本改訂および学科試験の見直し
- 4 教員検定の開催および検定内容の見直し
- 5 検定員検定内容の見直し
- 6 正会員向け安全セミナープログラムの作成
- 7 スクール支援のための事業企画と実施（スクールグッズの安価制作、スクール保険の見直し検討、J H Fウェブの活用など）
- 8 2 0 1 7年教員検定員研修検定会の準備

（３） H G競技委員会

- 1 ルールブックの改定
- 2 H G Sとクロスカンントリーリーグの活性化と支援
- 3 H G Sとクロスカンントリーリーグの管理運営
- 4 H G 競技委員会ホームページの管理運営
- 5 クラス I 日本選手権の開催（2 0 1 6年3月1 7日～2 1日、茨城・板敷）
- 6 クラス V 日本選手権の開催（時期、開催地未定）
- 7 クラス V 世界選手権（マケドニア）に選手派遣
- 8 各種大会の公認および後援申請に対する審議および承認
- 9 スポーツクラスの活性化検討

（４） P G競技委員会

- 1 ルールブックの改定
- 2 ウェブ事務局/ホームページ管理
- 3 J リーグ、J 2 リーグ、X C リーグ、A J リーグの管理
- 4 J 2 リーグの活性化・支援
- 5 X C 日本選手権の開催（時期、開催地未定）
- 6 アキュラシー日本選手権の開催（時期、開催地未定）

- 7 アキュラシーアジア選手権（５月２７日～６月３日、カザフスタン）に選手派遣
- 8 ホームページによるタイムリーな大会結果の発表

（５） 制度委員会

- 1 J H Fにかかわる制度の定款、規約、規程、規則などの文書管理
- 2 理事会諮問事項への答申
- 3 I P P I カードに準じたH G 技能証規程の改定
- 4 H G 教本の全面改訂作業に協力
- 5 パラ補助動力、M P G 教本に伴う技能証規程の改定
- 6 委任状による総会開催（ブロック組織の新設）の研究
- 7 F A I 技能記章に関する事項の検討
- 8 I P P I 付き技能証の検討

（６） 補助動力委員会

- 1 M P G パイロット安全セミナーの開催（各地）
- 2 M P G 全国大会の開催（５月 香川県、１０月 千葉県）
- 3 下総自衛隊安全会同への参加
- 4 教本D V D 化およびトーイング教本の作成準備
- 5 会員増加のための取り組み・事故対策への取り組み

（７） ハングパラ振興委員会

- 1 H G のパンフレット（紹介版）の発行
- 2 今飛んでいる人が飛び続けられる環境作りの検討
 - － フライヤーズボイスの活用についての検討（継続）
 - － 引越し、転勤などによるエリア移動の問題の分析と対応策検討
 - － 学生が卒業に伴いやめてしまう問題の分析と対応策検討
 - － 加齢による影響など
- 3 H G 教本およびP G 教本改訂への協力

（８） 役員選任実行委員会

- 1 ２０１７年度役員選任に向けての準備
- 2 役員選任規約の改定準備

（９） 事務局（広報出版活動）

- 1 J H F ウェブサイトの運営（スクール紹介サイトを含む）

- 2 JHFレポートの発行
- 3 白書「HG・PG JHF活動実績」の編纂と発行
- 4 関連媒体への情報提供
(ハング・パラグライディング関連雑誌に情報を提供)
- 5 一般媒体などへの情報提供
(ハング・パラグライディングの紹介、イベントやエリアの紹介など)
- 6 スクールなどへの情報提供
- 7 日本のHG・PGの歴史編纂事業

3. その他この法人の目的達成に必要な下記の事業を行う

- (1) 技術に関する事業
- (2) 教育に関する事業
- (3) 安全に関する事業
- (4) 競技に関する事業
- (5) その他普及啓蒙に関する事業

以上